

Covid-19 時代に対応したマンパワーに頼らない手指衛生向上システムの開発：画像解析による手指衛生自動検出システムの開発とロボットによる手指衛生行動の変容に関する研究に対する
ご協力をお願い

1. 研究科題名

Covid-19 時代に対応したマンパワーに頼らない手指衛生向上システムの開発：画像解析による手指衛生自動検出システムの開発とロボットによる手指衛生行動の変容に関する研究

2. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院

3. 研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授 内海桃絵

4. 目的

手指衛生遵守率向上のためのコミュニケーションロボットおよび手指衛生実施状況を把握するための手指衛生動作自動検出システムの開発を行います。

5. 対象

本研究の実施機関に 2021 年 3 月～2025 年 3 月の期間、勤務する医療従事者

6. 方法

病棟のスタッフエリアに手指衛生促進用にデザインしたコミュニケーションロボットを設置します。ロボットの発話回数などのログデータ、手指衛生実施状況を収集し解析・検討します。文書による同意を得た方には、アンケート調査、インタビュー調査を行います。

病棟にカメラを設置しスタッフの手指消毒実施状況を撮影します。取得した映像は、人手によるラベル付け（映像中の、どの時間区間に、画像中のどの人が手指衛生動作を行っているか）を行ったうえで、映像中から特徴を抽出し、検出器の学習を行います。

7. 研究期間

研究機関の長の許可日（承認後に記載します）～2025 年 3 月

8. 研究に用いる資料・情報の種類

ビデオカメラの映像（手指衛生実施動作）、年齢、性別、職種

コミュニケーションロボットが認識した音声の内容と日時、ロボットが発話した内容と日時

9. 研究に関する資料の開示

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の対象者の個人情報やこの研究の知的財産の保護等に支障がない範囲内で、提示することができますので、下記相談窓口までご連絡ください。

10. 相談窓口・お問い合わせ先

資料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年 月 日までに下記までご連絡ください。その場合でも不利益が生じることはありません。ご連絡いただいた内容について、ご所属部署の上司や同僚に伝えることはありません。

大阪大学医学部附属病院感染制御部 寄附講座特任准教授・濱口重人、看護師長・太田悦子

住所：大阪府吹田市山田丘 2-15

電話：06-6879-5093（内線 5093）

Eメール：hamaguchi@hp-infect.med.osaka-u.ac.jp, ota@hp-infect.med.osaka-u.ac.jp